

MDC-50Tb(MDC-XS5T ソフト)出荷設定

本機は出荷時、XDCAM StationとVTRが制御可能な設定で出荷しています。

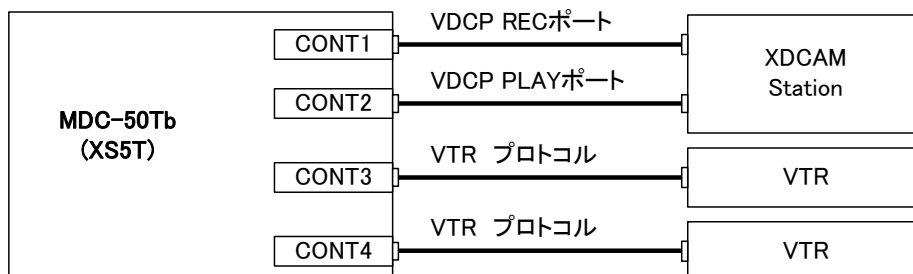
ソフト名称 : MDC-XS5T (本体表示 MDC50T-VDCP)

ソフトバージョン : S0140-03 XDCAM Station に対応しています。

S0140-11 SRMASTER SR-R1000

※ 2012年11月出荷より SONY 社 SRMASTER SR-R1000 に対応しました。

※ 標準出荷では、XDCAM Station の設定で出荷しています。



注) 上記はポートライセンスをフル装備で購入した時です。

■接続について

設定は、収録を行いながら再生動作させる動作になりますので、9ピンケーブル2本で接続して下さい。

<目次>

■通信プロトコルの設定.....	3
■追っかけ再生について.....	4
■EXT TC で動作させる場合.....	5
■XDCAM Station で連続再を行う時の注意！.....	6
■SRMASTER 使用時にメニュー設定.....	7
■VDCP とVTRプロトコルの設定（参考）.....	8
■接続後の動作確認について.....	9

<履歴>

年月	内容	
2012年11月	SR MASTER 項 追加	
同じ	EXT TC 明確化	

■通信プロトコルの設定

<XDCAM Station>

XDCAM Station のメニューを切り替えて下さい。

項目番号	項目名	設定
208	PROTOCOL FOR REMOTE(9P)	VDCP

<SRMASTER SR-R1000>

SRMASTER のメニューを切り替えて下記の設定を行って下さい。

項目(リモート制御の設定)	設定
HOME メニュー → ALT → F10(Remote Comand) → F2(Remote Protocol)	VDCP

※MDC-50Tb で使用するポート全てを切り替えて下さい。

※SRMASTERREMOTE 状態にして下さい。

項目(タイムデータの設定)	設定
TC メニュー → F5 TM SEL	TM2

※切り替えは F10 キーで行います。

■追っかけ再生について

<XDCAM Station>

下記のメニューを210(7秒)に設定して出荷しています。

7秒での追っかけ再生が可能になります。

項目	サブ項目	設定
RS-422 PORT	RecTcSc hDly	“0～150” (Def = 210) 収録直後の映像に対する CUE UP 操作に DELAY をかけます

※Port1収録ポートを設定して下さい。

※本設定は、XDCAM Station(XDS-2000)の仕様に起因ます。

210(7 秒)は弊社動作確認時に問題なく動作した数値です。

<SRMASTER >

下記のメニューを 30 に設定して下さい。

1秒での追っかけ再生が可能になります。

項目	サブ項目	設定
RS-422 PORT	RecTcSc hDly	30 “0～150” 収録直後の映像に対する CUE UP 操作に DELAY をかけます

※収録ポートを設定して下さい。

※本設定は、SRMASTERの仕様に起因ます。30(1 秒)は弊社動作確認

時に問題なく動作した数値です。

■EXT TCで動作させる場合

<XDCAM Station>

XDCAM Station の設定を変更して下さい。

MENU	設定
638[TC FOR VDCP]	REC : TCG PB : Zero Base

MDC-50Tb は、下記の設定で出荷しています。(変更の必要はありません)

項目	サブ項目	設定
RS-422 PORT	LouTcSnCt	Norma TC センスは 常時 1 種類 (FTC 相当 or LTC 相当) <input type="checkbox"/> Dual TC センスは 常時 2 種類 (FTC 相当 and LTC 相当) VDCP 機器に対してセンスする TC 種別数を設定します。
RS-422 PORT	CplyRspTc	<input checked="" type="checkbox"/> 0-Start X-Start 連続再生制御時の VDCP 機器からの TC アンサーの取り扱い指定

※Port1、2両方共設定を行って下さい。

■XDCAM Station で連続再を行う時の注意！

XDS-PD2000 と XDS-PD1000 により、クリップの最小 Duration を調整する必要があります。

下記は弊社で動作検証した Duration 値です。

出荷時は XDS-PD2000 の設定値で出荷してあります。

XDS-PD2000 ※出荷時設定

項目	サブ項目	設定
RS-422 PORT	CPlyMinDur	“0~999” (Def = 30) Frame 連続再生用 IN/OUT の最小デューレーション指定

※P1/P2 両方のポートで設定を行って下さい。

XDS-PD1000

項目	サブ項目	設定
RS-422 PORT	CPlyMinDur	120 Frame 連続再生用 IN/OUT の最小デューレーション指定

※P1/P2 両方のポートで設定を行って下さい。

■ SRMASTER 使用時にメニュー設定

SRMASTER を接続する時は、下記のメニュー設定を行って下さい。

項目	サブ項目	設定
RS-422 PORT	LouSpdStMd	VarZero ダイヤル等スピード制御において静止時にどのコマンドを使用するかの設定
RS-422 PORT	CplyFsPITm	15 連続再生処理のオフセット
RS-422 PORT	CplyRspTc	X-Start 連続再生処理の TC の設定
RS-422 PORT	ShtlMaxType	MAX DialShtl の最大操作位置のスピード
RS-422 PORT	T-BarMaxType	MAX T-Bar の最大操作位置のスピード

※RS-422 PORT 項目はポート毎に設定を行う事が可能です。

■ VDCP とVTRプロトコルの設定（参考）

VTR プロトコルとVDCPプロトコルを切り替える時は下記の MENU 設定を行って下さい。

MENU	詳細	VTR プロトコル	VDCP プロトコル
RS-422 PORT1	PrtclTyp ※制御プロトコルを選択します。	9PIN	VDCP
RS-422 PORT2	PrtclTyp ※制御プロトコルを選択します。	9PIN	VDCP
RS-422 PORT1	PortAtr ※制御ポートの属性を選択します。	Play&Rec	Rec
RS-422 PORT2	PortAtr ※制御ポートの属性を選択します。	Play&Rec	Play
CONSOLE	PortCtlMode ※VTR の制御方法を選択します。	Normal	Coupling
CONSOLE	P1EveCueArea ※ポート1の CUE データの保管エリア	AREA-A	AREA-A
CONSOLE	P2EveCueArea ※ポート2の CUE データの保管エリア	AREA-B	AREA-A

■接続後の動作確認について

1. 収録を行います。(REC+PLAY)

MDC-50Tb がファイル名(M011xxxx)でファイル名を発番して収録を開始します。

※収録を行う毎に xxxx 部の番号がインクリメントされます。

2. ポート選択ボタンで“ポート1”を選択すると TC が確認可能です。

※この状態“SFT”スイッチを押すと、ファイル名の確認が可能です。

3. 追っかけ再生を開始します。

SFT+PLAY スイッチを押すと、収録ファイル中のファイルを再生ポート(Port2)に読み出し、収録開始点の7秒前 CUE UP して、再生を開始します。

4. ポート選択ボタンで“ポート2”を選択すると TC が確認可能です。

※この状態“SFT”スイッチを押すと、ファイル名の確認が可能です。

上記は簡易動作確認です。

連続再生機能、CUE 機能の詳細は取扱説明書を参照して下さい。

武蔵株式会社

TEL 03-5982-4391 FAX 03-5982-4784

営業時間 9:00～18:00 月曜～金曜（休祝日を除く）

E-Mail : info@musashi-kk.co.jp

URL : <http://www.musashi-kk.co.jp/>
